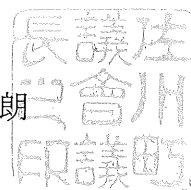


佐議 第 14 号
令和元年 6 月 17 日

高知県知事 尾崎 正直 様

佐川町議会議長 永田 耕朗



新たな管理型産業廃棄物最終処分場の施設整備の受け入れについて (回答)

令和元年 5 月 31 日付元高環対第 254 号で依頼がありました新たな管理型産業廃棄物最終処分場の施設整備の受け入れにつきまして、佐川町議会 6 月定例会会期中の 6 月 7 日、6 月 12 日に議員全員協議会を開催し、議会としての判断を検討いたしました。

これまで議員から意見や質問が出されておりました施設の安全性や維持管理体制、地域振興策につきましては、開催された説明会や今回添付していただいた確認書(素案)で概ね反映されていることが理解できました。加えて本施設の公共性や必要性の高さも考慮し、多数の議員は施設整備の受け入れに賛成の意思表示をいたしました。

一方で、住民の中には、将来に向けて施設の安全管理体制、水質や環境面での安全性、大規模災害時の安全対策、遮水シートの耐久性、基準に適合したもの以外の廃棄物の搬入等の不安の声や、地元住民の意思表示の場を設定するべきである、といった意見も出されております。

事業を進めていく上で、施設の安全性、維持管理体制はもとより地域振興策の計画策定等について、今後、高知県と佐川町で締結される確認書及び協定書の中で明示していただき慎重で誠意ある対応をしていただきますことを前提に、佐川町議会といたしまして、施設整備の受け入れ依頼に対しまして、受諾いたします。